

令和3年度

進路だより

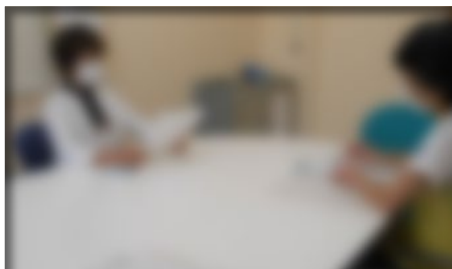


秋田県立秋田きらり支援学校
第4号

令和3年11月30日発行



～ 卒業後の生活 ～ <後編>



社会人となった現在の生活などについて、本校卒業生のAさんのお母様にインタビューさせていただいたお話の後編です。皆さんにぜひ、読んでいただければと思います。



Q1 休日の過ごし方を教えてください

家でゆっくり。土日は昼にゆっくり入浴をしています。週に一度、兄と姉から電話が来ます。聞いて、話をしています。学校生活を思い出しているのか、同級生の大好きだったラジオに耳を傾けて楽しんでいます。

Q2 社会人となった、日々の生活を教えてください

最初の現場実習を体験して、学校との違いを大きく感じました。あまり肯定的な印象ではありませんでしたが、通い始めてから、事業所は健康管理、ケア面がしっかりしていて、安心でき、アドバイスもしてくれることが分かりました。帰宅後も体調がよく。最初の印象と全然違ってきました。

起床や就寝、休日の過ごし方など、学校の頃と日常の生活時間帯は変わりません。朝が大好きでニコニコと起きる。(そろそろ学校かなあ……、あれ、なんかおかしいなあ)はありますが、特別な変化ではなく、うまく生活がシフトした感じ。事業所はどこも一生懸命にみてくれていて、感謝しています。卒業して社会人になったことに、うまく生活がシフトできた感じがあります。

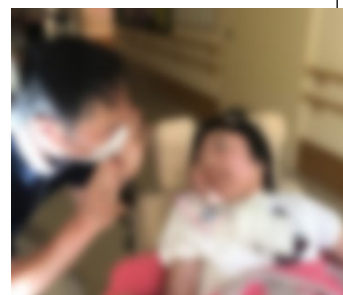
在学中の保護者の皆さんや先生方にメッセージをお願いします

時の流れは早いもので、小さいときは、まだまだ時間があると安易に考えていました。今は、体調管理と体調の変化に注意しながら、安定した生活を日々がんばらなくちゃいけないな、と卒業してあらためて思いました。

保護者の皆さんも、子どもと一緒にいろんな人と出会っているいろんなことを経験し、自立と社会参加をたくさんしてほしいです。

家での様子と、親から離れての子ども様子は多分全然違います。ちょっとしたことにも、子どもの気持ちはあると思います。子どもは、信頼できる人が身近にいることがとても大切です。親がいないところでも子どもにいろいろな表情がある、ということも、親も学んでいきたいです。長年子どもをみてくれた先生達など、周囲の人達のアドバイスが一番大切だと思います。

子どもによって、行ける事業所は決まってきます。その中から、先生達がいいと思う事業所と親がいいと思う事業所が全然違ったりするときもあり、進路選択は大変だと思います。けれども、最終的には親が気付きます。健常者であっても、就職先が合わずに離職することがあるように、1回ダメだったからといって焦らず、いろんな人と出会って、子どもに合うところを見つけていくことが大事です。最初からここで、と選んだ事業所が完璧なのではなく、子どもに合うかどうかを見極めていきましょう。子どもも親も、状況や年月で変化していきますから。





進路の情報をお探しですか？

学校を卒業したら、
どんな生活になるのかな？

何か、うちの子も参加
できそうなイベント
はないかな…？



進路のてびき

入学時と改訂時にお配りしています。本校の生徒の高等部卒業後の進路や生活について、進路希望先に応じた進路指導について、障害福祉サービス事業所の一覧などの情報が掲載されています。

校内にある進路の掲示コーナー

☆中央廊下の高等部教室付近

様々な事業所のパンフレットを掲示しています。卒業生が利用したり高等部生が実習を行ったりしている事業所のパンフレットを、手に取って見ることができます。

☆玄関の児童生徒靴棚付近

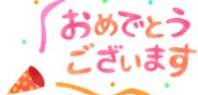
「進路だより」や新しい事業所紹介を掲示しています。機関誌「働く広場」の「ニュースファイル」も掲示していて、国の動向や障害に配慮した商品の開発情報なども載っています。

各自治体のホームページ

お住まいの自治体のホームページを御覧になったことはありますか？ 「障がい者のためのくらしのしおり」を発行している自治体の多くでは、ホームページからダウンロードできます。秋田市のホームページには、イベント情報も掲載されています。

その他「こんな情報がほしい」「〇〇を教えてください」などどんなことでも、お気軽に担任にお尋ねください。

第18回秋田県障害者技能競技大会 競技種目(表計算)



Sさん 銀賞受賞!

夏休み前の7月9日(金)に秋田市文化会館で技能競技大会が開催されました。本校からは、Sさんが表計算の競技種目に出場し、銀賞を受賞しました。今回は、Sさんに当時の様子を教えてくださいました。

Q1 銀賞に選ばれたときの気持ち

まさか銀賞を取れるとは思わなかったので、びっくりしました。でも、うれしかったです。

Q2 パソコン・データ入力部門を選んだ理由

元々、数学が好きで、表計算(エクセル)も数学と似ている所があるので、自分に一番合っているかなと思い、選びました。

Q3 大会に向けて、取り組んだことなど

エクセルの練習は、学校で休み時間を使って少しずつやりました。パソコン検定の練習と合わせて、大会の2~3週間前から練習をしました。

気を付けたことは、関数の意味や使い方、問題に答えるために適した関数を選ぶようにしたこと。大会で問題を解いているときには、(選んだ関数が)合っているかどうか分からなかったけれど、日々の練習を信じて取り組みました。

Q4 大会後、自身の変化や他校の生徒さんの様子などで感じたこと

銀賞を取ったことで、自信が付きました。大会は自分を含めて4人いました。周りの人は、自分よりも落ち着いていて自信がありそうに見えました。

Q5 これから大会に参加するかもしれない後輩たちに一言

練習しているときは、難しく「きついなぁ〜」と思うかもしれませんが、問題を解けたとき、達成感を得られると思います。ぜひ挑戦してみてください。





「譲れないもの」を大事にした進路選択

高等部卒業後の進路に対して、どのように考えていけばよいのか、不安を感じられている方も多いかと思います。また、「〇〇が良さそうだけど、△△の方も気になる」と進路を選択できずにいることも多くあります。そのようなときに「譲れないもの」を明確にしておくことが、選択肢を絞っていくために必要になります。

- ・好きな〇〇の仕事（活動）ができる所がよい
- ・給料（工賃）をもらいたい
- ・送迎サービスがある
- ・入浴サービスがある

将来、子どもに安心して、よりよい生活を送ってほしいと願うからこそ、たくさんの希望が出てきます。その中から、本当に「譲れないもの」は何か、「譲っても大丈夫なもの」は何かを考え、より自分にあった進路を選択できるようにしていきましょう。

Point!!

価値観や性格、好きなこと、得意なこと・・・
自分自身と向き合い、何を大切に、どのように生きていきたいかを考え、進路を決めるときの軸足を決めておく。



第18回秋田県障害者技能競技大会 競技種目(表計算)

Sさん

銀賞受賞!

夏休み前の7月9日(金)に 秋田市文化会館で技能競技大会が開催されました。本校からは、Sさんが表計算の競技種目に出場し、銀賞を受賞しました。今回は、Sさんに当時の様子を教えてもらいました。

Q1 銀賞に選ばれたときの気持ち

まさか銀賞を取れるとは思わなかったので、びっくりしました。でも、うれしかったです。

Q2 パソコン・データ入力部門を選んだ理由

元々、数学が好きで、表計算（エクセル）も数学と似ている所があるので、自分に一番合っているかなと思い、選びました。

Q3 大会に向けて、取り組んだことなど

エクセルの練習は、学校で休み時間を使って少しずつやりました。パソコン検定の練習と合わせて、大会の2～3週間前から練習をしました。

気を付けたことは、関数の意味や使い方、問題に答えるために適した関数を選ぶようにしたこと。大会で問題を解いているときには、(選んだ関数が)合っているかどうか分からなかったけれど、日々の練習を信じて取り組みました。

Q4 大会後、自身の変化や他校の生徒さんの様子などで感じたこと

銀賞を取ったことで、自信が付きました。大会は自分を含めて4人いました。周りの人は、自分よりも落ち着いていて自信がありそうに見えました。

Q5 これから大会に参加するかもしれない後輩たちに一言

練習しているときは、難しく「きついなぁ～」と思うかもしれませんが、問題を解けたとき、達成感を得られると思います。ぜひ挑戦してみてください。

